

- 🌀 指導教員 : 工藤博幸(教授)、岡田俊之(助教)、董建(研究員)、廉松哲(研究員)
- 🌀 学生数 : 博士前期 2 年 7 人、博士前期 1 年 4 人、学類 5 人
- 🌀 研究室説明会 : 10/14(水)17:00～・10/23(金)17:00～、会場: 総 B 913 号室
- 🌀 募集人数 : 情報メディア創成学類 3 人、情報科学類 2 人

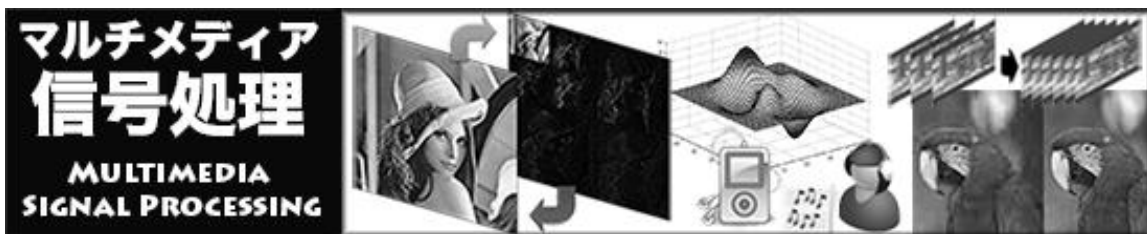


知的画像センシング～人間の知的な情報処理能力を応用して新センサを創る～

医用イメージングプロジェクト～見えないものを見る重要性が高い画像・映像技術～

医療支援技術プロジェクト～人の生命を救う重要性が高い画像・映像技術～

医用画像を解析して病気の自動診断や医師の診断支援を行う計算機支援診断、医用画像を解析して人体アトラスを構築する新分野である計算解剖学の研究を行っています。例えば、これまでがん、心臓病、認知症の診断を支援するソフトウェアを開発し、実用化されたものもあります。現在は、医学医療系と連携して外科手術シミュレータを開発するプロジェクトに参画しています。



マルチメディア信号処理～マルチメディアやインターネットを支える基盤技術～

画像・映像・音楽等のメディア情報の処理を取り扱う研究分野です。JPEG や MPEG に代わる次世代の画像・映像符号化手法の開発、シャノン標本化定理を満たさない粗く標本化したデータから高品質画像を再生する圧縮センシング、携帯プレーヤーへの応用を目的としたノイズリダクション手法の開発等の研究を行っています。



過去の実績は？



先輩方が、システム情報工学研究科長表彰、コンピュータサイエンス専攻長表彰、学群長・学類長表彰に選ばれています。また、日本医用画像工学会論文賞、電子情報通信学会研究奨励賞、日本医用画像工学会奨励賞(10人以上)、日本学術振興会特別研究員採用など高い評価を受けています。



ゼミ・研究の進め方は？



ゼミは週に1回程度行います。春学期には先行研究調査を行い基礎知識の習得を目指します。そして、秋学期には各自の研究の進捗状況報告を行います。研究でわからないことなどは、指導教員や先輩にいつでも気軽に相談できます。



計算機環境・設備は？



研究に必要な物品はほぼ揃っています。他に必要な物品がある場合は、先生との相談で買ってもらえます。(例)コンピュータ (Win・Mac 選択可)・ソファベッド etc.



卒業後の進路は？



卒業後も大学院進学や、医療・画像処理分野の企業で研究や開発を続けている人が多くいます。他の分野に就職する卒業生も少なくありません。

例) 大学教員、島津製作所、NEC 中央研究所、東芝メディカルシステムズ、キヤノン、富士ゼロックス、日立アロカメディカル、アクセンチュア、NTT データ、NRI、日立ソリューションズ、パイオニア、凸版印刷 etc.

研究室説明会の情報は随時更新していきますので、下記 URL を参照してください。
また、お気軽に下記メールアドレスに連絡するか直接研究室にお越し下さい。

研究室：総合研究棟 B 棟 901 号室(画像ラボ)、共同研究棟 A 棟 110 号室(CT ラボ)

URL : <http://www.imagelab.cs.tsukuba.ac.jp/>

連絡先：kudo@cs.tsukuba.ac.jp (工藤教授)

shiroyama@imagelab.cs.tsukuba.ac.jp (M1 城山(研究室紹介担当))